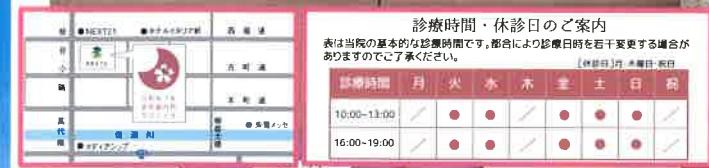


ARTIMES

AQUA RESORT

春
号
2021

お客様紹介



古町ルフル消化器内科クリニック 様

- 仕様: 海水コーラル
- 導入年月: 2020年9月
- サイズ: W1500×D450×H600

このコーナーは、実際に水槽を設置して頂いたお客様のご紹介と、
水槽設置後のご感想やご意見をいただくコーナーです。

●水槽メンテナンスを依頼したきっかけ

もう一つの医院で淡水の熱帯魚を飼育していて、新しい医院にも水槽をと考えていましたが、管理の面で不安がありメンテナンスをお願いすることにしました。せっかく管理をお願いするので、少し難易度の高い海水魚の水槽を設置することに決めました。

●サービスを利用して感じたこと

水槽の提案をしてもらう中で、作り物ではない、本物のサンゴの魅力に興味が惹かれて、サンゴ水槽を導入しました。1日の中でも、照明が明るくなったり暗くなったりする設定にしているので、それに合わせてサンゴの触手が伸びたり縮んだり、開いたり閉じたりする様子をとても楽しんで観察しています。

また、お子様はお魚に興味がある様子で、「ニモだ!」「ドリーがいる!」と嬉しそうに水槽を眺めていますし、水槽が外からも見える場所に設置してあるので、患者さんではない方もよく立ち止まってじっと水槽を眺めています。今後も、この水槽を眺めることによって、患者様の心が和んだり癒されたりしていただければ良いなと思っています。

人に教えてくなる！

おさかなコラム

意外と知らないお魚の生態、体の仕組み・・・
お魚ワールドの不思議をシリーズでご紹介します！

なぜ、どうしてクマノミは刺されない?



クマノミは強い毒を持つイソギンチャクと共生し身を守っていることは、様々なメディアを通して皆さんもご存知だと思います。

ですが、なぜクマノミはイソギンチャクに刺されないのかその理由を知っていますか？イソギンチャクが毒を発射するのには条件があります。その条件とは「海水よりもマグネシウム濃度が低いものに対してのみ発射する」です。

対してクマノミの体からは、海水よりもマグネシウム濃度が高い特殊な粘液が分泌されているため、クマノミは毒を発射する条件に該当しないのです。

そのため、クマノミはイソギンチャクに刺されることなく、他の魚から身を守って暮らせることなんですね。